

第 202 号 内容紹介

1, D・ロドリゲス「ベネズエラから世界と米国へのメッセージ」

マドゥロ大統領に代わって大統領代行に就任したデルシー・ロドリゲス女史が最初の閣議のあと発したメッセージ。戦争でなく平和を必要としているとして、米国との対話と協力の用意を表明している。

2, M・サントス「ベネズエラ革命は存続し、心理作戦を打破」

ベネズエラ情勢の深い危機と力関係を分析すれば、事態の本質がみえる。ボリバル革命は危機のなかで存続している。平和と妥協は降伏でなく、心理作戦への対抗だ。三大陸研究所の研究員の分析。

3, V・A「ベネズエラ市民は攻撃を非難し、マドゥロ解放を要求」

4 日にカラカスでおこなわれた大衆デモの様子を写真で伝えている。

4. ラ・ホルナダ「トランプ主義の亀裂と米議会の無力が露呈」

ベネズエラ攻撃に疑問を呈する保守派議員や、各地の民主党や進歩は議員たちの批判。メキシコ紙のアメリカ駐在記者が米国内の反応をまとめ分析している。

5. M・エルナー「ベネズエラ国民を窒息させるトランプ戦略」

軍事攻撃の態勢が依然として続く一方で、米国は海上を封鎖し、タンカーを拿捕し、ベネズエラ国民に対する経済的窒息を加速させている。米平和団体「コードピンク」からの告発。

その他の記事は「AALA ニューズ編集日記」で参照できます（[aala news の編集日記](http://aala-news.com/)
(livedoo n a 愛用紹介 r.jp)）

